

家畜衛生情報

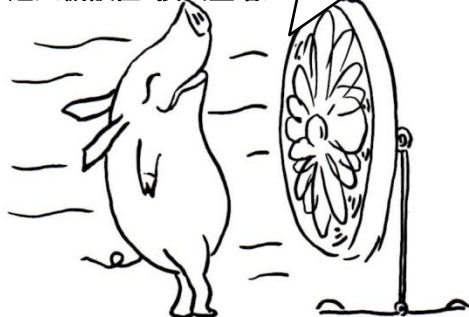
豚の暑熱対策

暑いのはダメなんです

よろしくお願いします

風通し良くねっ

送風機設置・換気量増加



水は欠かさずに！



水流量増加・給水装置点検

水浴び大好き！

水をかけ体温を下げる



お出かけは早い
時間に

早朝出荷

ゴハンは涼しい時間に

早朝・夜給餌

ゴーヤカーテン

植物などで日陰
を増やす

詳しくは裏面へ



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



風通しよくねっ

畜舎の温度を下げるためには、換気を良くすることが一番効果があります。換気扇や送風機を活用し、通風を妨げる障害物などは除去しましょう。哺乳豚には直接風があたらないよう気をつけましょう。

ぎっしりにしないで〜っ

豚は体熱放散の大きい動物です。密飼いにより畜舎の温度は上昇し、ストレスが増加します。特に暑い時期は畜舎の密度を普段の8割ほどにして、ストレスの低減に努めましょう。

水は欠かさずに

暑い時期の飲水量は増加します。常に清潔な水が十分に供給されるようところがけましょう。また給水器は故障やつまりがないよう頻繁に点検しましょう。

ゴハンは涼しい時間に

暑い時期は豚も食欲が低下します。給餌は早朝、日没後など涼しい時間にしましょう。食欲が低下している時は餌の種類も嗜好性の高いもの、栄養価の高いものを選ぶようにしましょう。

水浴び大好き！

ホースなどで水をかけることは豚の体温を下げるために効果があります。母豚などは首筋に水を滴下させることが効果的です。

お出かけは早い時間に

暑い時期の輸送は豚に大きなストレスがかかります。出荷の時間はできるだけ早くして涼しいうちに到着するようにしましょう。

ゴーヤカーテン

午後の西日が窓から差し込むと畜舎温度が上昇します。ゴーヤやアサガオなどの植物を利用して日陰を多く作り、畜舎をより快適に保ちましょう。